

## 笠岡市の自己水源 を問う



やまもととしあき  
**山本俊明議員**

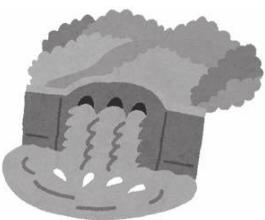
### 第7次笠岡市総合計画（案）にかける思いと決意を問う

**議員** 今定例会に提案された第7次総合計画は、平成30年度から平成37年度までの8年間の政策を実施する、笠岡市の道しるべとなる大切な計画である。この計画にかける思いと決意をたずねる。

**市長** 「子供たちが生まれて良かつた、住んで良かったと思うような笠岡にしたい。出でていってもまた帰つてきてももらえるような笠岡にしたい。家族の絆で結ばれた笠岡を取り戻したい。」との思いを第7次総合計画案「元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡」にこめた。誰もが郷土愛を感じ、住み慣れた地域でいつまでも活躍できるような魅力ある町をつくる。

**市長** 市内への水道水の供給は、西南水道企業団からの受水で十分満たされている。将来水不足が発生する可能性は低く、独自の源水を開発する検討は考えていない。

水利用で給水戸数も増え、水道経営の健全化が図られるとともに慢性的な水不足は解消した。しかし、昭和44年頃から強い匂いのある水道水が問題になり、高梁川からの送水とともに、現在まで尾坂池の余水は使われていない。今では尾坂池の水質も大きく変わったと聞く。余水を再び笠岡市の上水の水源として利用できないか。



もりおかさとこ  
**森岡聰子議員**

### 高齢福祉を問う

**議員** 地域包括ケア推進室の具体的な取り組み内容と将来の構想をたずねる。

**市長** 推進室では、制度や年齢による切れ目のない支援を受ける仕組みづくりを推進することで全世代、全対象型地域包括支援体制の構築を行つた。今後は、さまざまな相談支援機関の連携強化による早期発見、対応体制の構築、民間等とのネットワーク構築、ニーズに応じた適切な支援が受けられる地域づくりを進める。

**議員** 若年性認知症の方、家族への支援等をたずねる。

**市長** 本人、家族が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、支援体制の検討を行つてまいりる。

**教育長** 現在でも小学校4年生で必ず手話について学ぶ場がある。  
**議員** 手話の資格を取るための助成は考えられないか。

**健康福祉部長** 交通費の負担等、

### 障害福祉を問う

**議員** 障害者差別解消支援地域協議会設置の取り組みをたずねる。

**健康福祉部長** 年度内に第一回目を開催する目標で準備をしている。

**議員** 手話言語条例制定の考えは、また、もし制定されれば学校での取り組みを考えられないか。

**市長** 早期の条例制定に向けて進めてまいりたい。

